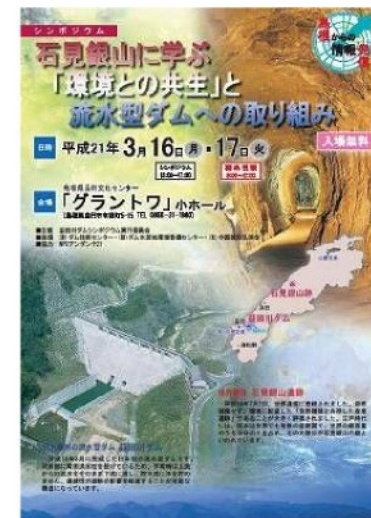


平成21年3月16～17日に開催した『シンポジウム 石見銀山に学ぶ「環境との共生」と流水型ダムへの取り組み』の概要について報告します。(参加総数249名 ※講演者等含む総数)

日時：平成21年3月16日(月)・17日(火)
 ・3/16 シンポジウム 13:00～17:00
 ・3/17 益田川ダム現地視察 9:00～12:00
 場所：島根県芸術文化センター「グラントワ」小ホール(島根県益田市)



■ プログラム

開催趣旨

平成18年3月に益田川ダムが日本初の平常時貯水しない治水専用の流水型ダムとして完成しました。従来のダムとは異なる様々な特徴をもっていることから、ダム技術の面から高い関心が寄せられています。

一方、一昨年、世界遺産に登録された石見銀山は、自然を破壊せず、環境に配慮した「自然環境と共存した産業遺跡」として評価されています。

石見銀山から「環境との共生」について学ぶとともに、益田川ダムの運用開始後の状況や今後のダム技術への応用などについて、専門家を交えて、シンポジウムを通して考えていきます。

12:55	【歓迎の挨拶】	益田市長	福原慎太郎
13:00	【アトラクション】	「石見神楽」 石見神楽久々茂保存会	
13:20	【主催者挨拶】	島根県知事	溝口善兵衛
13:30	【講演】	「世界遺産 石見銀山遺跡」 石見銀山資料館長	仲野義文
14:10		「昭和58年洪水と益田川ダム」 島根県益田県土整備事務所長	木佐幸佳
14:40	【休憩】		
14:50	【パネルディスカッション】	紹介「わが国の河川環境行政の変遷」 国土交通省河川局河川環境課長	中嶋章雅
15:25		「流水型ダムに寄せる期待と課題」 進行役：国土交通省中国地方整備局河川部長 パネラー：松江工業高等専門学校名誉教授 京都大学大学院工学研究科准教授 国土技術政策総合研究所 環境研究部環境研究官 土木研究所 自然共生研究センター長 島根県土木部河川課河川開発室長	吉田延雄 裏戸勉 角哲也 藤田光一 萱場祐一 岡正志
16:55	【閉会の挨拶】	島根県土木部長	神長耕二



シンポジウムの模様

シンポジウム

石見銀山に学ぶ「環境との共生」と
流水型ダムへの取り組み

【福原市長による歓迎挨拶】

開会に先立ち、開催地である福原益田市長より益田市に縁のある柿本人麻呂や雪舟の紹介や参加者への歓迎の挨拶をいただきました。（写真右上）



【石見神楽久々茂保存会による演舞】

島根県西部の伝統芸能である石見神楽（演目：大蛇【オロチ】）の演舞によりシンポジウムの幕が開きました。（写真中央）



【松尾副知事による開催挨拶】

開会にあたり、溝口島根県知事（代理：松尾副知事）より島根県の紹介や近年隠岐地区で発生した洪水に対するダムの貢献状況などをふまえ、益田川ダムへの期待や今後の流水型ダムの発展に向けての開会挨拶がありました。（写真右下）



基調講演①
「世界遺産 石見銀山遺跡」

石見銀山資料館

館長 仲野 義文



平成19年に世界遺産登録された県央に位置する石見銀山の経営や鉱山技術はもとより、環境と共生してきた先人の知恵など、後世に残す社会資本のあり方についてご講演いただきました。(写真上・右上)



基調講演②
「昭和58年洪水と益田川ダム」

島根県
益田県土整備事務所
所長 木佐 幸佳



今もなお地域住民の記憶に残っている昭和58年洪水の被害状況やこれに対する県の取り組みなどを通じ、益田川ダムが流水型ダムとして計画された変遷についてご講演いただきました。(写真下・右下)

紹介
「わが国の河川環境行政の変遷」

国土交通省河川局
河川環境課
課長 中嶋 章雅



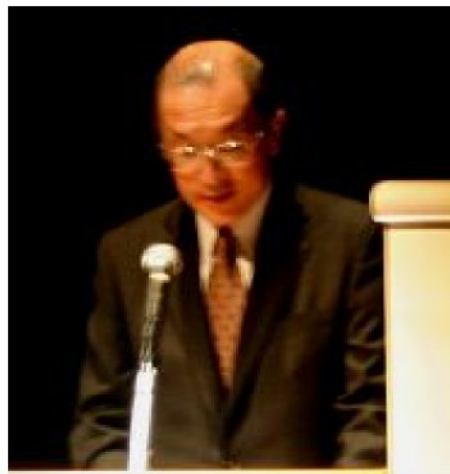
パネルディスカッションに先立って、河川法の改正経緯に伴う河川環境施策の変遷や実施施策の代表事例など、近年における河川環境行政について紹介いただきました。(写真上・右上)



パネルディスカッション
「流水型ダムに寄せる
期待と課題」

行政・計画・土砂・環境など、様々な分野の専門家により、益田川ダムを題材として海外の流水型ダムの事例を踏まえた期待や課題点など活発な意見交換がなされました。(写真下・右下)





【神長土木部長による閉会挨拶】

本シンポジウムの開催が、今後全国で計画されている流水型ダムの課題解決や整備の推進に大きく貢献していくという期待を込めた神長島根県土木部長の挨拶により締めくくりました。(写真左)

会場の様子



【受付状況】



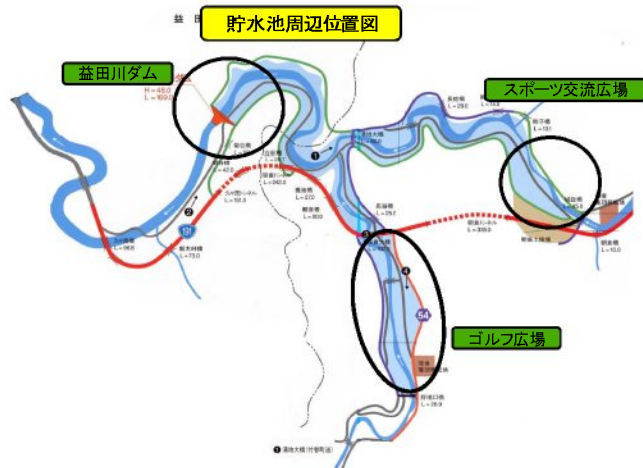
【パネル展示】



現場視察の様様

翌17日には、益田川ダム及び周辺環境整備箇所の視察を行いました。
(参加総数81名)

現地視察
「益田川ダム」
3月17日 9:00～12:00
益田市内→益田川ダム→益田駅



【副ダム及び減勢工】



【上流側流木止め施設】



【ダム管理所内】

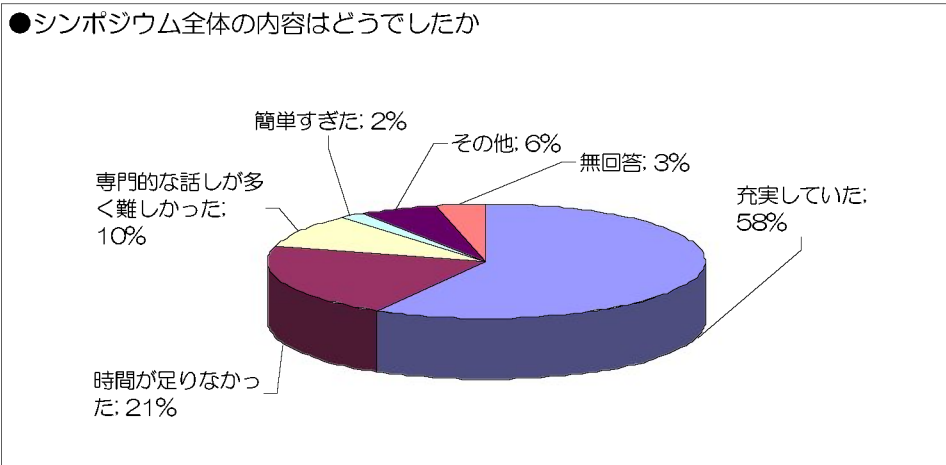


【ダム天端】



アンケート他

今回のシンポジウムについて参加者の方々にアンケートにより感想を伺いました。(回答数：115)



また、シンポジウム参加者全体の職業構成は下図のとおりでした。

